

はじめに

平素より地域の感染症対策にご協力いただきありがとうございます。

医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。

原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。

全数報告：第50～51週（12月9日～12月22日） 定点報告：第47～51週（11月18日～12月22日）

全数報告疾患情報

医

—— 市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第45～49週のグラフを別添しております

2類感染症	50～51週	累計（年）
結核	2	118

4類感染症	50～51週	累計（年）
A型肝炎	1	1

5類感染症	50～51週	累計（年）
侵襲性肺炎球菌感染症	1	14
梅毒	2	38
水痘(入院例)	2	5
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	14

発生動向トピックス

医

全

Topics 1

年末年始、海外に行かれる方は要注意！ 海外渡航時に注意すべき感染症は？

年末年始を利用して海外に渡航される方が増えることが予想されます。海外においては、国内では見られない感染症が流行していることがあり、海外滞在中に感染する可能性があります。海外へ渡航する際は、事前に渡航先における感染症の流行状況や推奨されている予防接種等を御確認ください。

また、感染症には潜伏期間が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中や帰国直後に症状が無くても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その場合は、医療機関に事前に連絡し、海外渡航歴があることを伝えた上で受診してください。

また、問診時には渡航先や渡航期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種状況等についてお伝えください。

渡航前、以下を確認しましょう

①予防接種状況



②感染症流行状況



③現地で注意すること



渡航先に応じて、虫よけ剤や長袖を持参したり、現地で体調が悪くなった際の受診方法等を確認しておきましょう

海外渡航時に注意が必要な感染症

麻しん（はしか）

感染すると、発熱や発疹等の症状が出現します。
主な感染経路は空気感染で、感染力はとても強いと言われています。
2回のワクチンで感染を防ぐことができます。
渡航前に、**予防接種歴の確認**をしておきましょう。



3類感染症

腸チフスや細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、コレラが含まれます。
感染すると、下痢や血便等の症状が出現します。
現地では、**生水や氷、生肉は喫食しない**ようにしましょう。



A型肝炎、E型肝炎

汚染された水や生肉、二枚貝等を喫食すると感染します。
潜伏期間が長く、2~6週間して発熱や倦怠感、肝機能異常、黄疸等の症状が出現します。
生水や氷、生肉、生野菜、カットフルーツは喫食しないようにしましょう。



蚊媒介感染症

蚊に刺されることによって、マラリアやデング熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎等に感染します。
発熱や発疹、頭痛、嘔気や嘔吐等の症状がみられます。
蚊がいる場所では、肌を露出しないようにし、**蚊の忌避剤の使用**を検討しましょう。

ダニ媒介感染症

ツツガムシ病やクリミア・コンゴ出血熱、回帰熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に感染します。
発熱、頭痛、筋肉痛等の症状が見られ、重症化することがあります。
ダニの吸着を防ぐことが重要です。
草むらやヤブに入る際には肌を露出しないようにしましょう。

狂犬病

狂犬病ウイルスを保有する動物に咬まれると感染します。
発熱や食欲不振等から始まり、最終的にはほぼ100%が死に至ります。
現地ではむやみやたらに動物に触れないようにしましょう。



MERS

主に中東で発生しています。ウイルスを保有するヒトコブラクダと濃厚接触したり、患者との接触によって感染します。
発熱や咳、息切れ等の症状が出現します。
ラクダには触れないようにしましょう。
また、**未殺菌の乳や生肉は喫食しない**ようにしましょう。



破傷風

傷口から破傷風菌が入り込んで感染します。
感染すると毒素が発生し、さまざまな神経に作用します。
口が開きにくい等の症状から始まり、呼吸ができなくなったりして死に至ることがあります。
渡航前に、**予防接種歴の確認**をしておきましょう。

【参考】厚労省検疫所FORTH：<https://www.forth.go.jp/useful/attention/index.html>

【参考】厚労省：海外へ渡航される皆様へhttps://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html

【参考】首相官邸ホームページ：海外での感染症対策<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/kaigai.html>

【参考】千葉県感染症情報センター：<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2450.pdf>

—— 定点医療機関における感染者数の報告は増加傾向(急増中！)です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況 (人)

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	1062	4	0	0	7

※型非鑑別キット

(医療機関からの型報告なく不明な 206 例を除く)

2024年第50週～第51週における
定点各医療機関からのインフル
エンザ報告数をまとめた表です

第51週の千葉県全体の定点当たり報告数は、
60.03(人)でした(図1)。市川管内の報告数は、
49.94(人)でした(図2)。

千葉県においても、管内においても報告数
が急増しています。

第51週に千葉県内で報告のあった11,345例
のうち、A型10,962例(96.2%)、B型23例
(0.2%)であり、A型が多い状況です。

図1

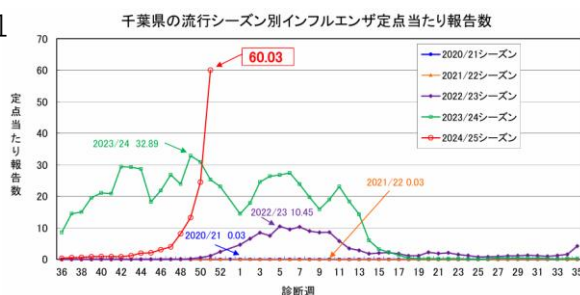
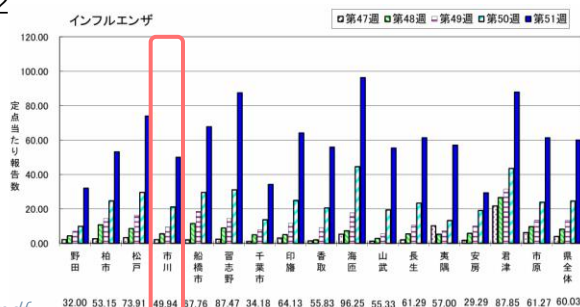


図2



感染
対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気
- ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける
- ⑥ワクチン接種

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202451influenza.pdf>

【参考】厚労省：インフルエンザQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2024.html

新型コロナウイルス感染症

—— 定点医療機関による感染者数の報告は増加傾向です

第51週の千葉県全体の定点当たり報告数は、
5.85(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、
長生10.14(人)、印旛8.08(人)、君津7.92(人)で
した。

市川保健所管内の報告数は、前週より増加し、
3.61(人)となっています(図2)。

図1

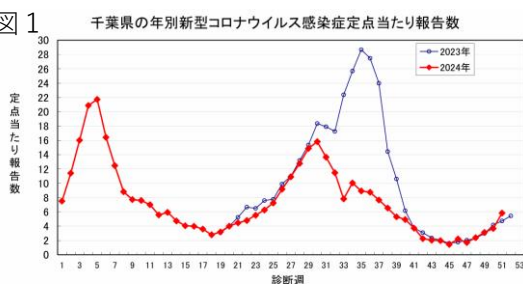
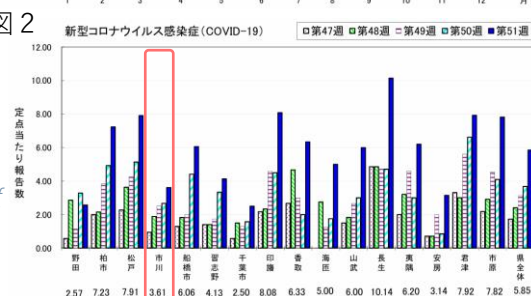


図2



感染
対策

インフルエンザを予防する
方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202451covid19.pdf>

【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

- ・【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵襲性髄膜炎菌感染症)の発生届をご提出いただく際は、発生届のご提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします
※閉庁時にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターにご連絡をお願いいたします
- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了承ください
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします

配信元

千葉県市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp

市川保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

